

**技術者支援、育成
に今後も取り組み**

建築設備士の日で
建築設備技術者協
会
建築設備技術者協会(野部
達夫会長)は18日、東京都江
東区の芝浦工業大学豊洲キャン
パスで「建築設備士の日」
記念事業を開いた。主催者を
代表してあいさつした野部会
長は「改正建築士法で建築設
備士が位置付けられ、建築の



環境性能への関心も高まって
いる。建築設備士を取り巻く
環境は大きく変化しようとし
ている中で、当協会は今後も
技術者の支援・育成に取り組
みたい」と語った。写真。

記念行事では朝日工業社と
三機工業に対し会長表彰した
ほか、カーボンニュートラル
大賞を受賞した大成建設ZEB
実証棟の性能を大成建設設
計本部設備設計第二部設計室
長の梶山隆史氏が発表した。

また、記念講演会では国連環
境計画・金融イニシアティブ
特別顧問の末吉竹二郎氏が
「ポストパリ協定時代の経
済のあり方」と題して講演し
た。

建築設備士の日

建築設備技術者協会(JABMEET、野部達夫会長)は18日、「建築設備士の日」(11月18日)の記念行事を東京・豊洲の芝浦工業大学で開いた。末吉竹二郎国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問が「ポストパリ協定時代の経済の在り方」をテーマに講演。大成建設設計本部設備設計第二部の梶山隆史氏が「大成建設ZEB実証棟都市型ZEBへの挑戦」と題した事例発表を行った。

建築設備士の地位向上や協会の発展に貢献した組織や個人を顕彰する「会長表彰」では朝日工業社と三機工業の2社が表彰された。

冒頭、野部会長は「昨年は改正建築士法で建築設備士が法律で位置付けられ、来年4月には建築物省エネ法に基づく一部建築物の省エネ基準の適合義務化

が始まる。建築設備に関するフェーズが変わり、設備士の役割も重くなる。きょうの講演内容が参加者の役立つよう願っている」とあいさつした。



あいさつする
野部会長

記念行事に
続いてJABMEET、空気調和・衛生工学会、電気設備学会、日本空調衛生工事業協会、日本設備設計事務所協会、日本

電設工業協会で構成する建築設備6団体協議会の主催で記念祝賀会が催された。

建築設備士の日は、「建築設備士」の業務や活動を広く社会に知ってもらうため、11年にJABMEETが制定した。11月18日は建築設備資格者を定める建設省告示が公布された日に当たる。

JABMEET記念行事・祝賀会
設備士の役割重要に